

# 平成24年度施策方針に対する評価

平成23年11月

養父市施策事前評価・市民評価委員会

## 目 次

1 はじめに . . . P 1

2 平成 24 年度施策方針に対する評価結果 . . . P 2

3 平成 24 年度施策方針に対する提言 . . . P 2

4 個別の評価結果

資料 1 平成 23 年度養父市施策事前評価実施要綱

資料 2 養父市施策事前評価・市民評価委員会委員名簿

資料 3 養父市施策事前評価・市民評価委員会の審議経過

# 1 はじめに

「社会経済情勢の変化に対応した簡素にして効率的な市政の実現の推進を図ること」を目的に設置された養父市行政改革推進委員会は、その任務として掲げられている行政改革の推進に関する重要事項を調査審議し、「第2次行政改革大綱の進捗管理・提言」、「事務事業評価」等を粛々と遂行してきた。その結果は市行財政運営に反映され、平成22年度末までの成果として実質公債費比率23年度末 17.6%達成見込み(3ヵ年平均)、地方債残高504.8億円(平成18年度：664.1億円)等財政状況は改善の兆候にあり、一定の役割を果たしている。しかしながら、市の財政状況は財政基盤の脆弱性、今後想定される市税収の落ち込み・地方交付税の減額等により「将来世代が稼ぐことのできる行革」を目指して新たな局面を迎えている。

一方、第2次養父市総合計画が策定され、「総合計画・予算編成・行政評価の一体運営」により、将来像の実現に向けて効果的・効率的な取組みを課題とするなか、担当部署の準備不足は否めないものの、「養父市施策事前評価・市民評価委員会」を設置され、施策事前評価を試行的に実施されたことは一定の評価に値する。従来のGDPを指標とした経済的幸福度に対して幸福度の政治的次元の研究において「人々は自分の運命を自分で決定できていると感じることで、大きな幸福を感じる」という命題が真であるとの報告もあり、市政運営プロセスへ市民参画を積極的に図ることは、その過程で具体的事業の合意形成を図ることにもつながると考える。

来年度からは、事前評価・事後評価(事前評価の検証)・施策立案・予算との連動・事前評価のPDCAサイクルを制度設計され、適正に運営されることを提起する。

市当局におかれては「養父市施策事前評価・市民評価委員会」の評価・議論の内容を真摯に受け止め職員一体となって市政運営されるとともに、市民との真の参画と協働のもと、「響きあう心 世界へ拓く 結の郷 やぶ」を目指して業務に精励されることを期待しつつ、本年度の提言を以下に示す。

## 2 平成 24 年度施策方針に対する評価結果

長期的視点において、基本方針及び取り組みの方向性については、総括的に一定の評価に値する。

## 3 平成 24 年度施策方針に対する提言

「養父市施策事前評価・市民評価委員会」は、平成 24 年度施策方針を評価する中で出された提案・意見を集約・整理し、平成 24 年度の施策展開に向けて以下のとおり提言する。

- (1) 市民に示す文書は市民が理解しやすい表現にし、具体的に記述すること。
- (2) 実施計画の検証を行い、次年度の計画に反映させること。
- (3) 部局横断的に連携を図ること。
- (4) 全職員は、業務に対して明確な目的意識と目標を持ち、有益な成果を上げること。

## 4 個別の評価結果

実施計画書（施策）に対する個別の評価結果は、別紙「平成 23 年度 施策事前評価・市民評価結果一覧表」のとおり。